

◇ 本号の「とびら」では、中山雅晴先生（山口大学大学院教授、日本分析化学会中国四国支部支部長）が「変容のときに思う」というタイトルで、新型コロナウイルス感染拡大以来の急速なオンライン化に伴う社会の変容について述べられました。学会や各種講習会等のオンライン開催が一般的となり、また学会誌や論文誌等も電子版への移行が本格的に進行しております。「ぶんせき」誌も、2022年3月から会員向けの冊子体配送が原則停止となりますが、今後は単なる記事の電子化ではなく、オンラインならではの情報発信を活用し、一層皆様のお役にたてる紙面を目指して参ります。

◇ 小職は、「新たな時代の幕開けに」と称して2020年の本誌表紙デザインを担当いたしました。その際には想像さえしませんでした。昨今のオンライン化等の急速な進行により、2020年は正に『新たな時代』が幕を開けた（開けられさせた？）年として記憶に残ることとなりました。社会通念やコミュニケーションが急速に変容する一方で、日常生活の時は止まってしまっている印象さえあります。2021年の本誌表紙デザインは「時の流れに時を刻む」ですが、世の中が平穏を取り戻し、皆さんで同じ『時を刻む』日常が一刻も早く訪れることを心から願っています。

[E. F.]

<とびら>

分析科学は社会の偏見に向き合えるのか……………井原敏博

<入門講座> レーザーを用いる分析技術

キャビティリングダウン分光法……………橋口幸治

<解説>

極微量炭酸塩の高精度安定同位体比分析の実現と応用研究
の展開：環境解析から水産資源の保全まで……………石村豊徳

<ミニファイル> 地域発の分析化学

世界一のリング「ふじ」の特性解析……………田中福代

<特集> 量子ビームを用いる分析化学

中性子（東海村）……………武田全康
(他6編)

◇ 編集委員 ◇

<委員長> 勝田正一 (千葉大院理)		
<副委員長> 菅寿美 (海洋研究開発機構)		
<理事> 津越敬寿 (産業技術総合研究所)		
<幹事> 加藤大 (昭和大薬)	東海林 敦 (東京薬大薬)	菅沼こと (帝人 株)
富岡賢一 (三菱マテリアル株)		
<委員> 井倉則之 (九大院農)	上原伸夫 (宇都宮大工)	江坂幸宏 (岐阜薬科大学)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	沖野晃俊 (東工大未来研)	齊藤和憲 (日本大学生産工)
坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	佐藤久 (北大院工)	高橋あかね (オルガノ 株)
田中佑樹 (千葉大院薬)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
中原佳夫 (和歌山大システム工)	野本知理 (千葉大院工)	東恭平 (東理大薬)
藤森英治 (環境調査研修所)	堀田弘樹 (神戸大院海軍科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
宮下振一 (産業技術総合研究所)	村居景太 (株共立理化学研究所)	村上良子 (山口大院創成)
森山孝男 (株リガク)		

回 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2021年第10号 (通巻562)

2021年10月1日印刷 定価1,000円

2021年10月5日発行 送料111円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒162-0808 東京都新宿区天神町78
小宮山印刷工業株式会社

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX : 03-3490-3572 振替口座 : 00110-8-180512

© 2021, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。